

座長	井出 明	石井康之	田中 秀穂	妹尾 堅一郎	松岡 守	仙石 慎太郎	山本 晃司	菊池 純一	佐伯 とも子	藤野 仁三
15:50	知的財産の新領域 1J1 青木 博通 日本弁理士会商標委員会 色彩のみの商標の保護 日米欧の比較法的考察	知財会計・評価と経営問題 1A1 山崎 忠史 アーンスト アンド ヤング 株式会社 市場競争における知的財産戦略の分析とチューデリジェンス・アプローチ 中村基治	先端技術と知財問題 1B1 平塚 三好 東京理科大学専門職大学院知的財産戦略専攻 ソフトウェア特許によるイノベーションの促進および阻害についての考察	知財人材育成 1C1 三重県立四日市商業高等学校 知財教育研究会での研究・実践発表に見る知財教育の進展	知財教育 1D1 世良 清 三重県立四日市商業高等学校 知財教育研究会での研究・実践発表に見る知財教育の進展	産学連携及び新規事業 1E1 近藤 正幸 横浜国立大学大学院 途上国の先駆的産学連携・知財マネジメント	知財・技術情報の戦略的活用と管理 1F1 星野 豊 筑波大学人文社会科学部研究科法学専攻 インターネット上の論評による名誉毀損の成否	知財・技術情報の戦略的活用と管理 1G1 犬塚 篤 東京大学先端科学技術研究センター 特許発明者のパフォーマンスと共発明期間	知財制度論 1H1 村上 恭一 青山学院大学大学院 法学研究科 消尽論における生産概念再考 菊池純一	知財に関する国際問題 1I1 加藤 浩 特許庁 アジアと日本の知財政策の比較研究
16:10	1J2 生越 由美 東京理科大学専門職大学院 日本ブランドを高めるコンテンツ資源に関する研究	1A2 中川 貴己 新生信託銀行株式会社/中央大学商学研究科商学専攻博士課程後期課程 ブランドの証券化と会計	1B2 馬場 謙成 東京理科大学専門職大学院(MIP) 非接触ICカード関連特許取得に関する審査のあり方の一考察 - その1 清水至	1C2 青山 絃一 帝京大学法学部 弁理士法改正は真の知財人材の供給につながるか 帖佐隆、岩崎律子	1D2 陳 愛華 重慶大学 知的財産を活用した商店街活性化と知財教育 世良清、岡田広司	1E2 般島 正洋 内田・般島法律事務所 研究開発国家プロジェクトにおける知財管理手法 岩崎洋平、島亨	1F2 新森 昭宏 インテックシステム研究所 請求項解析ツールを用いた請求項引用関係の分析 谷川英和、大塚由香里	1G2 インテンシブ続き 9 53	1H2 佐藤 辰彦 特許業務法人 創成国際特許事務所 日本のプロパテント政策における「発明の保護」の再評価	1I2 加藤 浩 特許庁 生物多様性条約と特許法の比較研究
16:30	1J3 松縄 正登 特許庁審判部第14部門 著作権保護期間の延長に関する附則の解釈 黛祐佳、青山絃一	1A3 鈴木 公明 東京理科大学専門職大学院 ブランド取得を伴うM&Aに対する株価反応に関する実証研究	1B3 清水 至 東京理科大学専門職大学院(MIP) 非接触ICカード関連特許取得に関する審査のあり方の一考察 - その2 馬場謙成	1C3 吉田 哲 奈良先端科学技術大学院大学、産官学連携推進本部 技術移転人材育成におけるNAISTメソッドの紹介と研修運営の課題 久保 浩三	1D3 本江 哲行 富山工業高等学校 富山高専型PBLを用いた知的財産教育 岡根正樹、伊藤道子、島政司、上堀博之、今井英之山本妙子	1E3 宣保 友理子 株式会社 沖繩TLO 「沖縄型イノベーション創出システム」の確立に向けて	1F3 宮本 和敏 シナノケンシ株式会社 精密電機事業部 特許情報を活用した潜在市場規模の推計	1G3 米山 茂美 武蔵大学経済学部経営学科 特許を根子にした競争力の形成と維持: 白色LEDをめぐる日亜化学の事例研究	1H3 インテンシブ続き 91	1I3 渡辺 健 東京理科大学知財専門職大学院 中国の実用新案戦略と侵害事件の検証 郭 煜
16:50	1J4 湯本 長伯 九州大学 産学連携センター 建築設計に係る多段階の知的生産物の扱いに関する考察	1A4 萩原 豊 (財)電力中央研究所 知的財産センター 非営利研究機関の知財価値評価における諸問題	1B4 齋藤 裕美 政策研究大学院大学 バイオ関連産業の特徴・特許データによる分析 隅蔵康一	1C4 仁賀 建夫 (独)中小企業基盤整備機構 中小企業の知財戦略支援事業の事例分析について 环博昭	1D4 片桐 昌直 大阪教育大学自然研究講座 産業財産権教育教材の配布希望調査を通じての知財教育の現状 丸幸弘、西村由希子	1E4 宮川 幸子 東京理科大学専門職大学院 中小企業活性化のための日中国際産学連携に関するシステムの提案 駱玉蓉	1F4 谷川 英和 IRD国際特許事務所 特許明細書作成支援システムと特許部品データベース構築技術 渡辺俊規、難波英嗣	1G4 木苗 貴秀 MPO株式会社 聖マリアンナ医科大学における知的財産の分類と活用戦略 大竹秀彦	1H4 諏訪野 大 近畿大学法学部 出版権と知財信託	1I4 岡本 麻紀 東京理科大学知財専門職大学院M2 特許文章の構造化による翻訳上の効果と課題
休憩	湯本 長伯	鈴木 公明	馬場 謙成	青山 絃一	片桐 昌直	近藤 正幸	米山 茂美	犬塚 篤	諏訪野 大	加藤 浩
17:20	1J5 小野 征彦 第61期司法修習生 集合住宅用テレビ録画サービスの侵害主体 松縄正登、青山絃一	1A5 眞田 久雄 デジタルアーツ株式会社 研究開発無形資産の関連性分析・ソフトウェア産業の視点から	1B5 田中秀穂 京都大学 研究マテリアル転移システムの最適化に関する考察: ナショナルバイオリソースプロジェクトにおける検討 鈴木睦昭	1C5 妹尾 堅一郎 東京大学 経営関係者への知財マネジメントの学ばせ方	1D5 村松 浩幸 信州大学教育学部 小学校における知財絵本読み聞かせの教育効果 丸幸弘、西村由希子	1E5 名取 隆 日本政策投資銀行 研究開発型中小企業による新製品・サービス事業化の課題	1F5 山崎 忠史 アーンスト アンド ヤング 株式会社 オープンイノベーションのための知的財産戦略アプローチ	1G5 高橋 健 東京大学 大学院薬学研究科 先進的医薬アライアンス(ライセンス)モデルの実証と提案 小川康、木村廣道、仙石慎太郎	1H5 高木 進 青山学院大学大学院法学研究科知的財産法専攻 現行特許法の訂正審判の「誤記の訂正」の問題点	1I5 吉田 哲 Posz Law Group, PLC 米国における保守的代理人の存在理由、知識共有文化の相違点からの分析 David G. Posz
17:40	1J6 和田 成則 和田・茅原知財事務所 公共調達と特許権 - 特許権を有するというメリットを活用して、公共調達を受注できる可能性を向上させる方法など - 久野敦司	1A6 小畑 喜一 東京大学 事業戦略における「破壊的技術転用」の事例比較 渡部俊也	1B6 田中 秀穂 京都大学 大学は技術移転可能な特許を出願しているか: 国立大学法人と創業企業からの医薬関連特許出願の解析 青野友親	1C6 インテンシブ続き 26	1D6 村松 浩幸 信州大学教育学部 中学校技術科における知財学習のためのDVD教材の開発 勝浦莉津子、松岡守	1E6 仙石 慎太郎 京都大学 産官学連携センター 革新的医療・医薬技術の事業化戦略の考察 藤浦莉津子、松岡守	1F6 堀口 明子 大阪大学大学院工学研究科 大学が取り組む国際共同研究と計算機シミュレーションによる実証例の現状と課題 笠井秀明、岸浩史、国方伸一、Wilson Agerico Tan Diño、中西博	1G6 酒井 いづみ 青山学院大学大学院法学研究科ビジネス法専攻 ブランド資産保護のための商標管理の在り方について 菊池純一	1H6 安田 和史 日本大学大学院法学研究科知的財産コース修了/東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科 YouTubeにおける著作権問題に関する最新動向	1I6 川上 正隆 青山学院大学大学院法学研究科ビジネス・センター 営業秘密の国際化における要件の検討
18:00	1J7 井出 明 首都大学東京 安全学の体系における知的財産制度の位置づけについて 金田直樹	1A7 北村 光司 日本弁理士会知的財産価値評価推進センター 事業戦略における知的財産価値評価について 村山信義	1B7 青野 友親 京都大学 大学が技術移転可能な特許を出願するための課題に関する考察 田中秀穂	1C7 妹尾 堅一郎 東京大学 技術取材・インタビューに関する方法論的考察 北野正人	1D7 松岡 守 三重大学教育学部 アクションリサーチのアプローチによる海外知財教育調査と知財教育手法の開発 山根栄次、須野野仁志、世良清、樋口成伸、山中伸一、奥村幸司、河村広之、吉岡利浩、岡田広司、魚住明生、村松浩幸、横山悦生、井口泰孝、木下隆、伊藤篤治、笠井美孝、村岡明、長谷川紀子、趙宏剛、加藤敬之	1E7 隅蔵 康一 政策研究大学院大学 医薬品業界の産学連携分析: 大学・研究機関との特許の共同出願に着目して 齋藤裕美	1F7 江藤 学 (独)経済産業研究所 コンセンサス標準における特許組込手法とその役割 宇佐見弘文、平松幸男	1G7 石田 尚史 大阪工業大学大学院 知的財産研究科 バイオ医薬分野特許出願における出願ルートの考察 宇佐見弘文、平松幸男	1H7 鈴木 香織 日本大学大学院法学研究科知的財産コース修了/一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営法専攻 キャラクターから見る応用美術の範囲と著作権法による保護	1I7 鈴木 信也 日本大学大学院法学研究科知的財産コース修了 海外における日本商標登録に関する問題と考察 大石健一郎
18:20	1J8 インテンシブ続き 41	1A8 丸尾 麗 日本大学大学院法学研究科知的財産コース修了 日本と米国におけるパテント・ロールの比較考察 安田和史、鈴木信也	1C8 片岡 敬光 株式会社バットブレン TRIZを用いた特許アクションのスキルUP	1D8 インテンシブ続き 151	1F8 野田 誠一 岐阜大学 産官学融合センター 大学等における著作権管理の現状の調査 八代正男	1G8 片岡 みゆき 日本大学大学院法学研究科 営業秘密の保護に関する考察 - 米国経済スバイ法から見る新法「技術情報適正管理法(仮称)」制定 - H18年改正、意匠法24条2項についての考察	1H8 西口 克 日本大学大学院法学研究科私法専攻知的財産コース 「H18年改正、意匠法24条2項についての考察」	1I8 鈴木 信也 日本大学大学院法学研究科知的財産コース修了 標準化阻害行為とその対策に関する考察		
18:40										
19:00	懇 親 会									
20:30										